

『幸』

令和3年5月24日（月）

何事も『自分ごと』として考え、思いやりのある行動を増やしましょう。

5月も残り後1週間になりました。今朝の全校集会では、『いじめについて考える日』のお話がありました。入学後、最初の学年集会でもいじめについて話をしました。あれから1ヶ月以上経ちましたが、振り返ってみてどうですか？『いじめは絶対にやってはいけない、許してはいけないという意識』を持つことが大切ですが、そういう意識を持って過ごせていましたか？

校長先生もおっしゃっていましたが、自分自身もこの世からいじめがなくなってほしいです。東北の被災地に行ってその思いがより強くなりました。地震や津波により、家族や友人が亡くなってしまった方々に、たくさん出会いました。家だけでなく、学校まで流された地域もあり、幼い命もたくさん失われました。その人たちからいつも感じることは、『とても後悔されていること』です。もっと一緒にいたかった、明るく話しておけば良かった。何百人にお会いする機会がありました。後悔していなかった人は、誰一人いませんでした。

でも地震や津波は『自然災害』です。もちろん大阪でも起こる可能性はありますが、誰も悪くありません。でもいじめは自然災害ではなく、『人災』です。人災とは漢字の通り、人の起こす災害です。暴言や暴力、無視など、人が人を傷つける行為によって、毎年亡くなってしまう人がいます。絶対にあってはならないことです。自然災害は防災対策や防災教育を実践することで、災害を防げる可能性が高まります。でも人災は、そもそも一人ひとりが他人に優しく接すれば、起こることはありません。49期生の皆さんを見ていて、友だち思いの温かい心を持った人が多いと感じています。だからといって、卒業するまでいじめが起こらない可能性は、0ではありません。いじめの起こる原因はたくさんありますが、一人ひとりが幸せで、充実した時間を過ごせていれば、そんなことは起こらないのではないのでしょうか？

最高のボランティアは『^{じょうきげん}上機嫌でいること』と聞いたことがあります。ぜひ今回の話や学習を、『自分ごと』としてしっかり受け止めてください。そして上機嫌でいるために、自分の心を明るくして、周りの人たちに思いやりのある行動、温かい言葉をかけてあげてください。

